令和８年度　全国学力・学習状況調査（生徒質問紙）結果

今回の全国学力・学習状況調査では、国語・数学・英語の学力調査の他、学習に対しての意識や取組状況、学習環境に関する質問が行われました

今年度の結果は、以下の通りです。全国平均を上回る項目については、今後も伸ばしていくような取組を心がけ、下回っている項目については、要因となるものを分析して、その改善に向け、取り組んでいきたいと考えております。質問項目について、特に顕著な例を挙げます。

〇肯定的な回答（「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」）が全国の結果を上回っている〇

・人が困っているときは、進んで助けていますか
・先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
・学校に行くのは楽しいと思いますか
・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか
・困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか
・あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する（図、表、思考ツールを使ってまとめる）ことができると思いますか

●肯定的な回答（「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」）が全国の結果を下回っている●

・分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか
・朝食を毎日食べていますか
・国語の勉強は得意ですか
・数学の勉強は得意ですか
・英語の勉強は得意ですか

結果より

今年度の３学年については、困っている人を進んで助けようとする素晴らしさがあります。また、学校に行くのが楽しいと感じていたり、学校にいつでも相談できる大人がいるという状況が、学校祭等の行事の成功にもつながっていると考えられます。

ICT 機器を使って情報を整理することができるということは、社会に出てからも役に立つスキルです。そのよさを様々な場面で発揮していきたいところです。

一方で生徒が自分で学び方を考え、工夫していくことや、学習した内容を次の学習につなげていくことについては、課題が残ります。学習に対する苦手意識も大きいという傾向が見られます。授業の中でも自ら学び方を考えつつ、進んで学習に取り組む姿勢が少しずつ身に付くように、教師の授業改善にも努めていきたいと考えております。

札幌市教育委員会では、「学習習慣」「運動習慣」「生活習慣」づくりを学校とご家庭とが、『まほうのかいわ』を合い言葉に連携して取り組むことを目指しています。ご家庭でもぜひ、学校生活の様子などを話題にしていただきたいと思います。

さっぽろっ子「学び」のススメ

https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/sidou/documents/r3_susume.pdf